

以森伝心

理事長 柏原康夫筆

25

公益社団法人 京都モデルフォレスト協会情報誌「以森伝心」第25号 2013年10月

京都の森を守り育てる運動に参加しませんか



クスノキ

西京区桂徳大寺町の三宮神社にあるクスノキ。樹高12.5m 幹周4.4mの大きな樹木で「西京区民誇りの木」80選のひとつにも選ばれている。クスノキといえば、三行脈が目立つ葉っぱをちぎると樟腦の匂いがするという特徴で有名だが、生育場所としては人の手の入らない森林よりも人里近くに多く見られる。大昔から、この神社の樹木のように身近な人々に木陰の涼を与えてきてくれたものと考えられる。思い返せば50年ほど前に通っていた朱雀第一小学校の校庭の真ん中にも一本の大きなクスノキがあった。六年間の春秋を共に過ごしたクスノキの木陰の涼の思い出は、今でも懐かしくよみがえってくる。その当時はあまり強い印象は持っていなかったが、森林インストラクターになる前の幼い少年が、樹木と長期間触れ合った最初の本であったような気がしている。そして今の樹木や森林に対する興味と関心を植え付けてくれたものと思われてならない。

京都森林インストラクター会

田中義人(文・写真とも)

イベント参加者募集&助成金情報

森林づくり関連イベント等 参加者募集

参加者を募集している森林づくりイベント等をご紹介します。内容が変更になることがありますので、参加を希望される場合は、必ず主催団体にご確認ください。

11月2日(土) 森を調べる 森を育てる 森を伝える「宝が池連続学習会」 【第3回】自然学習フィールド拠点をめざして

京都市

身近な森を再生し、育て、未来へつないでいくための、フィールド実践も交えた連続学習会(5回)を開催しています。

- 内容：座学(自然学習の大切さ・日本の暮らしに息づく自然観)、フィールド実践(自然学習プログラム体験)
講師：菅井啓之氏(京都ノートルダム女子大学心理学部教授)
- 時間：10時～15時30分
- 集合時間・場所：10時に宝が池公園子どもの楽園管理事務所横・ミーティングルーム
- 参加費：500円(保険料等として全5回分。その他、必要に応じて材料代などの実費)
- 対象・定員：15歳以上の興味のある方 30名
- 主催：(公財)京都市都市緑化協会、京都府立大学・森林科学科
- 申込・連絡先：事前に下記までご連絡ください。
子どもの楽園管理事務所 野田・小川
TEL：075-781-3010 E-mail：kaerusenpai@kyoto-ga.jp

11月16日(土) 茶源郷和束ビジネス・カレッジ2013 木エインストラクター研修 子供の創造力を養うクラフト

和束町

具体的な体験ワークショップを想定し、木材加工技術及びインストラクション技術を修得してもらいます。講師：松村朋子氏(フォレスト神野山)

- 時間：13時～15時
- 集合時間・場所：13時に和束茶カフェ会議室
- 参加費：無料
- 主催：和束町雇用促進協議会
- 申込・連絡先：事前に Web ページ(HP「茶源郷和束ビジネス・カレッジ」で検索)からお申し込みいただくか、下記までお問合せください。
和束町雇用促進協議会
TEL：0774-78-4181

11月9日(土) 育てよう! きょうとトラックの森 チャレンジ里山体験2013

京都市

森林に親しみ、その育成を図り、地球温暖化の要因であるCO2の削減を目指し、あわせて、京都の伝統と環境をまもる取組として、森林作業体験・工作体験を行います。

- 時間：9時30分～15時30分
- 集合時間・場所：9時30分に法然院総門前
- 参加費：無料 記念品とお弁当付き
- 主催：(一社)京都府トラック協会
共催：林野庁京都大阪森林管理事務所、フィールドソサイエティー(法然院森のセンター)、森の灯台 香樹庵
- 申込・連絡先：10月31日(木)までにメールかFAXにて下記までお申し込み下さい。定員に達し次第締め切ります。
法然院森のセンター
E-Mail：moricent@deluxe.ocn.ne.jp FAX：075-752-4583



助成金情報

森林づくり活動や、団体運営に役立つ助成金情報をご紹介します。申請される場合は、必ず事前に募集团体にご確認ください。

1/20
(月)
まで

一般財団法人セブン・イレブン記念財団／2014年度公募助成

セブン・イレブン店頭に寄せられたお客様からの募金で、地域の環境市民活動を支援する助成制度です。

●助成の種類

- ・地球温暖化対策助成：「自然環境の保護・保全」を通じたCO2の吸収・固定活動を支援。
- ・活動助成：環境市民活動に必要な経費を支援。
- ・自立事業助成：助成期間内に、事務所家賃・人件費などの経費を安定的に確保できる自主事業を構築・確立し、自立した活動ができる環境NPOを目指す団体を支援。
- ・清掃助成：ごみのない環境をつくる活動を支援。
- ・緑化植花助成：緑と花咲く街並みをつくる活動を支援。

●助成対象団体

- ・地球温暖化対策助成：NPO法人、任意団体(活動実績3年以上)、一般社団法人
- ・活動助成：NPO法人、任意団体、一般社団法人(2013年度の「活動助成」助成先団体は対象外)
- ・自立事業助成：「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証され、かつ、法人として3年以上の活動実績があるNPO法人

- ・清掃助成：年間を通じて定期的に清掃活動を行っている市民団体
- ・緑化植花助成：会員名簿や年度毎の収支報告などがあり、継続的・組織的に活動を行っている市民団体

●年間助成上限額(1団体あたり)

- ・地球温暖化対策助成：200万円×原則3年間継続
- ・活動助成：上限なし
- ・自立事業助成：400万円×原則3年間継続
- ・清掃事業：30万円
- ・緑化植花助成：50万円

●応募期間 平成25年12月1日(日)～平成26年1月20日(月) 当日消印有効

●お問合せ・申請書類提出先

(一財)セブン・イレブン記念財団
住所：〒102-8455 東京都千代田区二番町8-8
TEL：03-6238-3872 FAX：03-3261-2513
E-Mail：oubo.14b@7midori.org
詳しくはHP「セブン・イレブン記念財団」で検索

モデルフォレスト DAY がスタート 10月6日に京都市で キックオフイベントを開催

当協会では、平成 28 年の全国育樹祭に向け、モデルフォレスト運動の裾野を更に拡大するため、今年から京都府や関係機関とともに、府内一斉森づくり活動期間「モデルフォレスト DAY」を設定し、10月6日にキックオフイベントを開催しました。

当日は、秋晴れというには暑いくらいの天候の中、午前中は京都市北区の「京銀ふれあいの森」において、山下副知事、柏原理事長、カナダ・ケベック州政府のマルコット経済部長、ケベック木材製品輸出振興会日本代表の高橋氏、ラヴァル大学のジェリナ教授やインド環境森林省のシャルマ博士が記念植樹を行いました。その後、林大生による伐採実演や京都銀行の皆様による森づくり活動が実施されました。

午後からは、京都府立大学に会場を移し、「持続的な森林環境の保全と市民の役割」をテーマに、「森林保全シンポジウム」を開催しました。

シンポジウムでは、シャルマ博士とジェリナ教授から特別スピーチをいただき、その後、元 FAO 森林資源官の榎尾昌秀氏をコーディネーターに、林業女子会@丹後の矢尾尋子氏、森林ボランティア団体のフォレスターうじの木曾宗統氏、京都府立大学の田中和博教授、そして、シャルマ博士とジェリナ教授にも加わっていただき、パネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは「森林に依存し生活してきた人たちの知恵から学び、森林生

態系の大きな恵みに気付くべき」、「利害関係者間での

合意形成が大切」、「森づくり活動においては、生態系や法律制度などの専門家を交えて実施することが大切」、「私たちは天然の資源を利用し尽くし、経済的な発展を遂げてきたが、その結果、地球温暖化や大被害等を引き起こしてしまった。森林との付き合い方を見直し、モデルフォレスト運動に多くの人が積極的に参加するようになることを期待する」といった意見が出されました。会場からも活発な意見がありました。



記念植樹



森林保全シンポジウム

期間中には 30 の企業・団体にモデルフォレスト DAY の取組にご協力いただき、府内各地で森づくり活動が実施される予定です。

JR 西日本が「森林利用保全協定」締結

西日本旅客鉄道株式会社 (JR 西日本) が「府民の森ひよし」に「Club J-WEST の森」を設定され、京都府、当協会と協力し、Club J-WEST メンバーによる森づくり活動の推進を図るため、10月7日に森林の利用保全に関する協定を締結されました。今後、「府民の森ひよし」にて、サクラやモミジの植樹、自然観察会や木工教室等を開催されます。



もり 森林に生かされる人々

チーム以森伝心は、京都モデルフォレスト運動を推進し、京都の森林づくり活動を広げていくためのサポータークラブです。今号では、森林からの恩恵を受け、森林とともに生活している人々を訪れ、その生業や暮らしを紹介する「森林に生かされる人々」をお届けします。

「これからの京都にふさわしい 木の家をつくりたい」

佐野春仁さん（建築家・教員）

今回は、京都建築専門学校よしやまち町家校舎へ佐野春仁先生を訪ねました。坪庭の見える、木製の建具や土壁に囲まれた落ち着いた部屋でお話を聞くことができました。

子どもの頃から実家の山仕事を手伝っていた佐野先生は、大学のある京都に来て、山や川といった自然から離れられない自分に気づいたと言います。大学で建築を学んだ後も、木造建築をと、大工組合が創立した京都建築専門学校で教鞭をとられ、市民講座「木造の魅力」や京都市内の町家改修活動、また林業地で木に触れながら建築を学ぶ「木匠塾」活動を学生たちと年々行って来られました。京北の合併記念の森での山小屋制作や、京都市の平成の京町家伝統型モデル建設もその延長上のお仕事です。



木のぬくもりが感じられる、よしやまち町家校舎

佐野先生は木にこだわりを持ち続けておられます。先生が学生の頃は、「大きなビルを」という人が多かったのですが、最近の学生さんは、「子どもの頃見た大工さんに憧れて」という人が多いそうです。その大工さんというのは、おそらく木の柱や梁を相手に熟練のワザをふるう人でしょう。しかし、最近では工場で家のパーツを作るような工法が進んでいます。「科学技術は、飛躍的に成果を出すことで余裕を生み出すために使うはず。しかし、結果的に時間に追われていないか。昔の自然相手ののんびりした時間空間

の中で固有の文化が育まれた。その豊かさを見直したい」と。

また、「子どもを山の中で遊ばせたい。平板な人工物の中とは違った自然の豊かさが出てくる。今は京北合併記念の森で親子さんたちと一緒にツリーハウスをつくっているが、子どもを山に解き放したい。山道をわくわく歩いて鹿と出あったり、夜、真っ暗な中で歩く恐怖も体験もさせたいね」とも。

町家には庭が欠かせない。「市中の山居」という言葉の通り、昔から人は大都会でも自然を身近に感じられる暮らしを求めて来たそうです。地球規模で環境を守らねばならない今こそ、京町家の知恵を生かしたい。「自然と響き合う木の家の暮らしを」と、佐野先生の中では一貫して、山（森林）と木、その木を使った建物とそこでの人の暮らし方を結びつけて考えておられることが感じられました。

（井上和彦）



学生たちとの木の家づくりについて説明する佐野春仁さん



京北のツリーハウスづくり

事務局からのお知らせ

活動報告

- 10月6日（日）「モデルフォレストDAY」キックオフイベント 森林保全シンポジウム
- 10月12日（土）「花背の森で 木工体験」
- 10月21日（月）まで 森林・山村多面的機能発揮対策交付金 2次募集

今後の予定

- 10月31日（木）まで 緑の募金運動強化期間 京都の森林を豊かにし、まちなかの緑を増やすために、ご協力をよろしくお願いいたします。
- 11月9日（土）秋の森林体験ツアー「樹齢1000年超の伏条杉に会いに行こう」
- 11月末日まで モデルフォレスト一斉活動期間「モデルフォレストDAY」

発行：公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

入会案内資料をご希望の方は、ご連絡ください。

〒604-8424 京都市中京区西ノ京樋ノ口町123 京都府林業会館3階（住所が新しくなりました。）

TEL & FAX 075-823-0170 E-mail kyomori@kyoto-modelforest.jp URL <http://www.kyoto-modelforest.jp>

2013年10月発行

デザイン：自然堂（じねんどう）株式会社